

お知らせ

ガイドウォーク 11、12月の予定

日程	テーマ	時間	日程	テーマ	時間
11月 8日	湿地の生き物	10:00~11:30	12月 6日	バードウォッチング*	10:00~12:00
22日	落ち葉の下を のぞいてみよう	10:00~11:30	20日	アニマルトラッキング	10:00~11:30
29日	木の実を探そう*	10:00~12:00	27日	コウノトリを知ろう (屋内ガイド)	10:00~11:30

* 11月29日、12月6日は、通常の自然観察終了後、パソコンを使って生き物情報の入力・整理をおこないます。

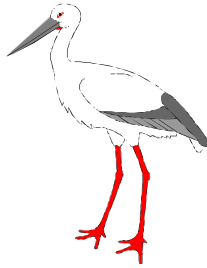
持ち物： 長ぐつ、筆記用具

集合場所 コウノトリの郷公園内 管理・研究棟玄関前

参加無料・申し込みは必要ありません

(ただし、15名以上の団体で参加希望の場合は、事前にお知らせ下さい)

テーマは野外の状態により変更することがあります。悪天候の場合は、室内でペーパークラフトをします(小雨決行)



地域参加の森づくり 第3回 よみがえれ、マツタケ山！！

マツタケを育てるためのアカマツ林内環境整備、アカマツ植樹、腐葉土作り

日時 平成15年11月23日(日) 9:30 コウノトリの郷公園駐車場集合(活動時間10:00~15:00)

対象 興味がある方ならどなたでも(小学生以下は保護者の同伴が必要です)

参加費 無料 服装 山歩きのできる汚れても良い服装 長そで・長ズボン、長靴、登山靴等

持ち物 タオル、飲み物、昼食など

申込み・問い合わせ先 地域参加の森づくり実行委員会事務局

〒668-8666 豊岡市中央町2-4 豊岡市環境経済部 農政課 農林係

TEL 0796-23-1111 FAX 0796-24-7801

申込み方法 電話または申込書にてお申し込み下さい

但馬まるごと感動市

日時 平成15年11月15日(土)・16日(日) 10:00~16:00

場所 コウノトリ但馬空港 (雨天決行) 入場・駐車場無料

主催 ・但馬まるごと感動市実行委員会(但馬県民局商工労政課内) TEL 0796-26-3685

http://web.pref.hyogo.jp/tajima/chiki_ksyourou/kandou.htm

・ふれあいの祭典但馬実行委員会(但馬県民局県民運動課内) TEL 0796-26-3646

コウノトリや野生復帰について紹介するコーナーもあります。

問い合わせ先： 兵庫県立コウノトリの郷公園

〒668-0814 豊岡市祥雲寺字二ヶ谷128番地

TEL: 0796-23-5666 / FAX: 0796-23-6538

E-mail: kounotori-bo@hyogo-c.ed.jp URL: <http://www.whitestork.jp>

開園時間 9:00~17:00 / 休園日 毎週月曜日(休日に当たるときは翌日)

リサイクルペーパーを使用・『いきもの通信』はホームページからカラーでダウンロードできます

いきもの通信

NO.75

兵庫県立コウノトリの郷公園

田園生態研究部

2003.11.5発行

- ・郷公園自然観察マップ
- ・行事予定など掲載

サギに発信器を付け放鳥しました

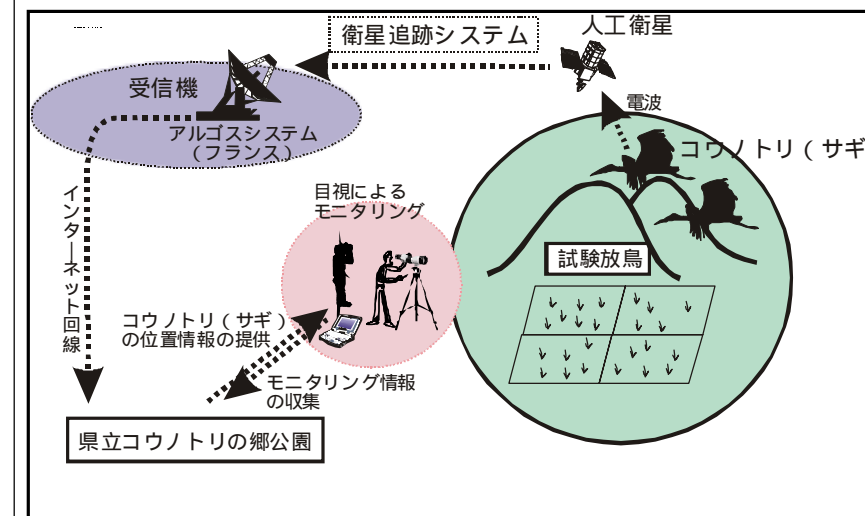
郷公園では2005年にコウノトリを放鳥する時、コウノトリに発信器を付ける予定です。そのテストとして、今年コウノトリの代わりにサギに発信器を付け、放鳥することにしました。

9月25日、園内でアオサギ1羽を捕獲。翌日、発信器を背中にくくりつけ、放鳥しました。発信器の重さは約30g、一般に、鳥の体重の4%以下の重さならば、取り付けても飛翔の負担にならないと言われています。ちなみに、このアオサギの体重は約1.4kg、発信器の重さは体重の約2%でした。発信器のバッテリーは1~3ヶ月間もち、1年ほど経つと、くくりつけたリボンが切れて発信器は脱落します。

発信器からの情報は、人工衛星で受信後、フランスを経てインターネット回線で郷公園に届きます(図)。これはアルゴシステムと呼ばれ、鳥が地球上のどこに行ってもその居た場所と日時をパソコンで見ることができるすぐれ物です。鳥の居た場所が緯度と経度で示されるのですが、電波が山に反射したりして、観測地点には誤差が生じます。今回はこのシステムの誤差を調べるため、発信器によるサギの追跡と合わせて、目視による追跡も行なっています。



発信器とアオサギ。発信器はランドセルのように背負わせる。オレンジ色の足環が目印。



2005年に試験放鳥するコウノトリのモニタリングの模式図。現在はサギを使ってテスト中。

追跡から、このアオサギは郷公園を主な活動場所としていることがわかりました。その中でも東公開ケージ周辺で1日の大半を過ごし、エサ場としても利用するという、のんびりした生活をしています。

郷公園では近日中にさらに別のアオサギとダイサギに発信器を付けて放鳥する予定です。豊岡盆地でアオサギとダイサギを見かけたら、よく観察してみてください。背中から発信器のアンテナがヒョイッと伸びているかもしれません。

現在のコウノトリ羽数：108 + 1(野生)
(2003年10月31日現在)